

## 人事委員会議事録（第1688回）

### 1 開催日時

令和4年7月1日（金）16:30～17:10

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	古川卓哉	事務局長
	西谷智子	任用課長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 委員長選挙の件

選挙の方法について、指名推薦による方法に決定したうえで、指名者を長尾委員とした。長尾委員から田中委員を委員長として指名する旨の発言があり、全員の同意に基づき、委員長は田中委員に決定した。

### 第2号議案

#### 委員長職務代理者指定の件

委員長が、鈴木委員を委員長職務代理者として指定した。

### 第3号議案

#### 資格免許職採用試験筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（7月4日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

保健師（一般）や薬剤師は、重複申込者を除いた受験率はどれくらいか。

（事務局）

保健師（一般）は申込者48人中27人が重複者で、新規申込者21人中13人が受験したので受験率は61.9%となり、受験率は昨年度より低下した。（R3:74.4%）

薬剤師は申込者55人中37人が重複者で、新規申込者18人中9人が受験したので受験率は50.0%となり昨年度より大幅に低下した。(R3:88.3%)

(委員)

資格免許職採用試験としての各職種の受験率はいくらか。

(事務局)

保健師（一般）が54.2%、薬剤師が40.0%だった。

(委員)

特別枠採用試験の最終合格者が欠席するのは当然として、受験率が低いことや、短期間に同じ職種を2度も募集することなどについて検討が必要である。

(委員)

特別枠採用試験の検証が必要である。

(事務局)

行政A・資格免許職採用試験の最終合格発表を行ってからでないと検証できないので、その後取りまとめる予定である。

(委員)

保健師（一般）の一番下位の合格者の得点が著しく低い者がいるが、最低合格基準を満たしているのか。

(事務局)

素点では最低合格基準を満たしているが、受験者が少ない職種で標準点化した場合、こうした事例が発生することがあり、今後の検討課題である。

(委員)

私もその点を問題視しており、標準点と素点の使い分けについて、次回以降の採用試験の中で検討する必要がある。ただ、最下位の者が合格しようとする面接でかなり高得点を取る必要があるため、そういった意味では筆記試験の配点が高まっていると言える。

## 報告事項 1

### 看護師等採用候補者選考試験（第1回）の実施状況

任用課長が、標記試験の実施状況を説明した。

(委員)

なぜ年間4回も実施するのか。

(事務局)

離職率が高く、産休・育休に入る職員も多い一方で、欠員を出すことはできない職種なので、柔軟に採用できるよう配慮する必要がある。1回目、2回目は新卒者をターゲットにしており、1回目の試験日は、実習等の関係で受験できないことがあるので、そうした者が2回目の試験を受けると聞いている。3回目、4回目は転職者を想定しており、退職予定者の動向等に応じて募集数を調整する。

## 報告事項 2

### 任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会が行った4件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

閉 会